

プラスチックごみ問題^{もんだい}

世界中で年間800万トンの海洋ゴミが発生しています。
中でもペットボトルやレジ袋など街で発生したゴミが、全体の8割を占めています。
海に面する192の国のうち、海洋プラスチックごみの年間流出量の割合は日本が30位。
先進国ではアメリカに次ぐ2番目の多さです。

なぜ、海洋プラスチックごみが問題なの？^{もんだい}

2018年、某県の浜辺に打ち上げられたクジラの赤ちゃんの胃の中からプラスチックごみが発見されました。このような事例が世界各国でいくつも報告されており、さらにプラスチックが紫外線などの影響を受け、小さな破片となった「マイクロプラスチック」を魚や貝などがエサと間違えて食べてしまっているのです。

プラスチックは消えてなくなることがありません。
食物連鎖により、最終的にその魚を食べた人間が摂取してしまいます。

このままいくと、2050年には海洋プラスチックごみが魚の量を上回ってしまいます。